

取扱説明書 INSTRUCTION

JCC04・7T11・7T12・
7T62・7T82・7T92・
F27・F27A・F29・F35・
J7T04・J7T12・VK63C・
VK63CA・VKCC

該当機種

7T04/YM04・7T11・7T12/YM12・7T62/
YM62・7T82/YM82・7T92/YM92・7T94・
VK61・VK63・VK64・VK67・VK68・VK73・
VK83

2206

弊社製品についての修理その他のご相談は、「お買い上げ店」で承っております。なお、ご不明の点は下記へお問い合わせください。

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪府西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

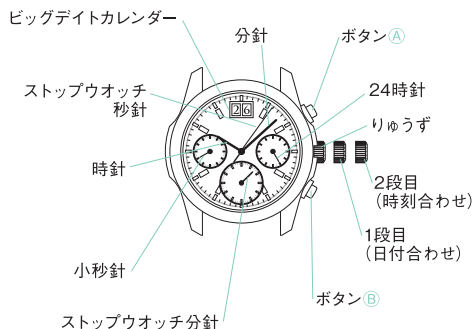
セイコーウオッチ株式会社

<https://www.seikowatches.com/>

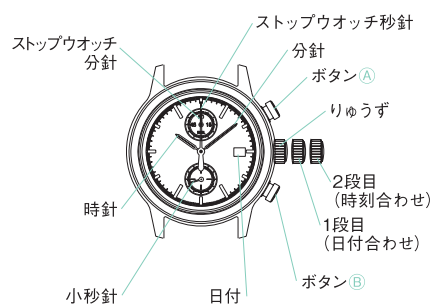
この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。
なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。
※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。
お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。
※お買い上げ時の電池は、機能や性能を检查するための電池(モニター電池)です。保証期間内でも電池交換は有料となります。
※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

■ 特徴と各部の名称とはたらき

●7T04/YM04 (1/5秒計測60分計)



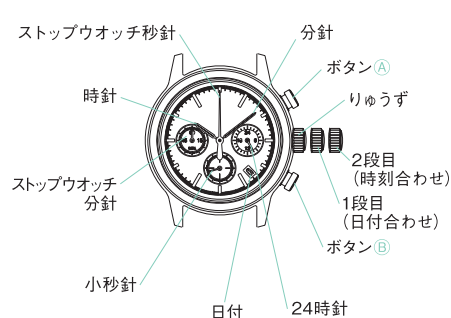
●VK61 (1/5秒計測60分計)



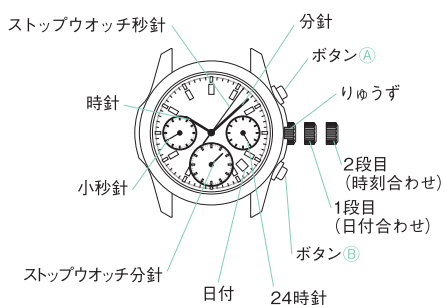
●7T11 (1秒計測12時間計)



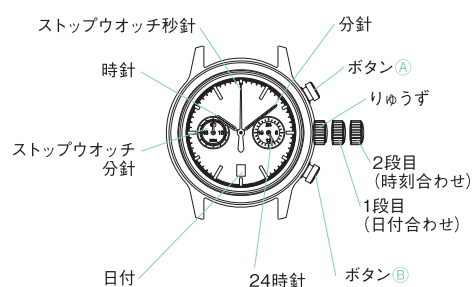
●VK63 (1/5秒計測60分計)



●7T12/YM12 (1/5秒計測60分計)



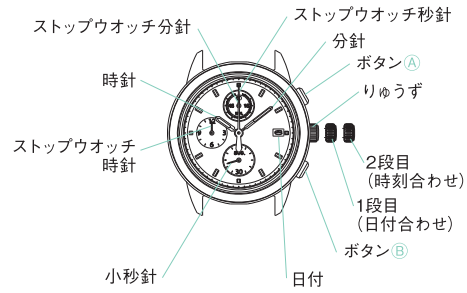
●VK64 (1/5秒計測60分計)



●7T62/YM62
(1/5秒計測60分計)



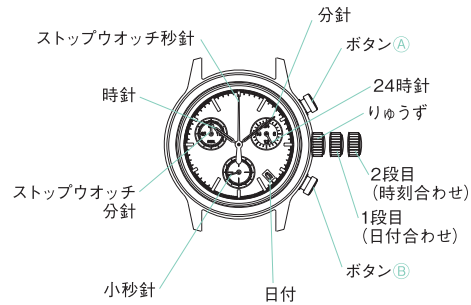
●VK67
(1/5秒計測12時間計)



●7T82/YM82
(1/100秒計測40分計、連続120分作動)



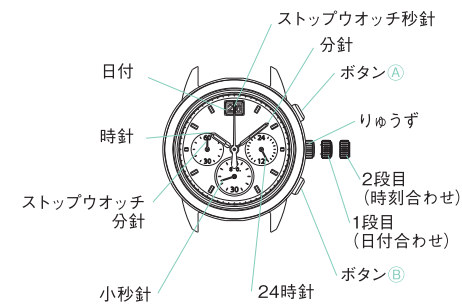
●VK68
(1/5秒計測60分計)



●7T92/YM92
(1/20秒計測12時間計)



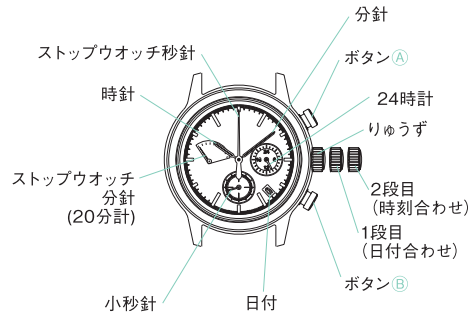
●VK73
(1/5秒計測60分計)



●7T94
(1/5秒計測60分計)



●VK83
(1/5秒計測20分計)



■ 時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ)

● 時刻の合わせかた (基本時計)

- ① りゅうずを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。
小秒針は12時の位置に止めてください。

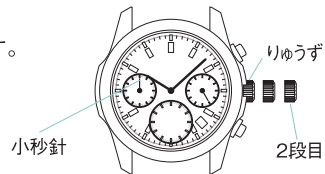
※ VK64 には秒針がありません。

※ 7T/YM

ストップウォッチ計測中の場合は、ストップウォッチが強制的にリセットされます。

※ VK

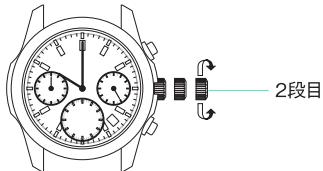
ストップウォッチ計測中の場合は、ストップウォッチ計測は継続します。



※ りゅうずとカレンダー位置はモデルによって異なります。

※ 小秒針位置はモデルによって異なります。

- ② りゅうずを回して、「基本時計」の時刻を合わせます。



この時、合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。その後「ストップウォッチ針の0位置合わせ」を行なうからです。
すべての合わせが終わってから、りゅうずを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。

※ 日付が変わるところが、午前0時(午後12時)です。24時針を参考に午前・午後を間違えないように合わせてください。

※ この時、正確に合わせるために分針を正しい時刻より4~5分進めてから針を戻して合わせてください。

※ 7T11/7T12/VK63/VK68/VK73/YM12では、24時針は時針と連動して動きます。

- ③ ボタン(B)を押して、「アラーム小時計」の時刻合わせをします。(7T62・YM62のみ)

「②」で合わせた基本時計の時刻と同じ時刻に合わせます。

ボタン(B)を押し続けると、早送りします

※ アラーム小時計には、午前午後の違いはありません。

- ④ ボタン(A)を2秒以上押し続けてください(7T/YM使用モデルのみ)。修正できる針が次々と切り替わります。

ストップウォッチ針を0位置に合わせてください。ボタン(B)を押し続けると、早送りします。

※ 針は1周自動的に回って修正状態であることを示します。その後、ボタン(B)を押し合わせます。

7T04/YM04	7T11	7T12/TM12	7T62/YM62	7T82/YM82	7T92/YM92	7T94
ボタン(A)を約2秒押し続け						
分針	秒針	分針	アラーム小時計の合わせ	1/100と1/10秒針	1/20秒針	分針
ボタン(B)を押して合わせます						
ボタン(A)を約2秒押し続け						
秒針	時・分針	秒針	分針	秒針	秒針	秒針
ボタン(B)を押して合わせます						
ボタン(A)を約2秒押し続け						
-	-	-	秒針	分針	時・分針	-
ボタン(B)を押して合わせます						

- ⑤ すべての合わせができたら、時報と同時にりゅうずを押し込みます。

※ 時刻合わせは、電話の時報サービスTEL. 117が便利です。

続けて針の0位置修正を行う場合は、りゅうずを押し込んで再びりゅうずを引き出して行ってください。

■ 日付の合わせかた

※ 7T11は日付が付いていません。

時刻合わせができてから、日付を合わせてください。

1ヶ月が31日でない=小の月(2, 4, 6, 9, 11月)の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに行ないます。

● 日付の合わせかた

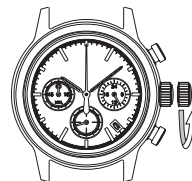
- ① りゅうずを1段目に引き出してください。

- ② りゅうずを右に回して、日付を合わせてください。

※ 午後9時から午前3時までは日付を合わせないでください。

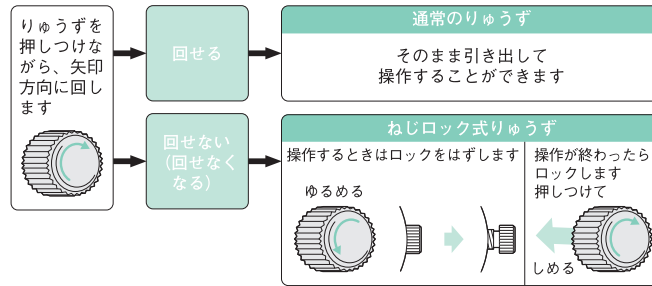
この時間帯に合わせると、翌日になっても日付が変わらないことがあるのでこの時間帯外で合わせてください。

- ③ 合わせ終わったらりゅうずを押し込んでください。



■ りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

■ 製品仕様

		7T04	7T11	7T12	7T62	7T82	7T92	7T94	VK61	VK63	VK64	VK67	VK68	VK73	VK83	YM04	YM12	YM62	YM82	YM82		
1. 水晶振動数		±15秒								32,768 Hz (Hz = 1秒間の振動数)								±20秒				
2. 精度 (平均月差)		-10℃ ~ +60℃								-5℃ ~ +50℃								-5℃ ~ +50℃				
3. 作動温度範囲		4個								2個								3個				
4. 駆動方式 (ステップモーター式)		3個								3個								4個				
5. 表示内容	[時刻機能]	24時針、時、分、小秒針 (1秒ステップ運針)	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		時、分、小秒針 (1秒ステップ運針)	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		24時針、時、分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ストップウォッチ1/10秒針 (1/100秒運針、1秒/1周)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ストップウォッチ1/20秒針 (1/20秒運針、1秒/1周)	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ストップウォッチ1/100秒針 (1/100秒運針、0.1秒/1周)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ストップウォッチ秒針 (1/5秒運針、60秒/1周)	○	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ストップウォッチ分針 (1分運針、60分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ストップウォッチ分針 (1分運針、40分/2/3周)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		ストップウォッチ分針 (1分運針、20分)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ストップウォッチ時針 (1時間運針、12時間/1周)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ストップウォッチ時針 (ストップウォッチ分針と連動12時間/1周)	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	[アラーム機能]	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6. 仕様電池 (酸化銀電池)		SB-AP: 1個				SB-BP: 1個		SB-AP: 1個		SB-A4: 1個						SB-AP: 1個		SB-BP: 1個		SB-AP: 1個		
7. 電池寿命		約5年 ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。				約3年 ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。 (上記に加え、7T62はアラーム20秒以内の使用)		約5年 ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。		約3年 ただし、1日にストップウォッチ60分以内の使用。						約5年 ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。		約3年 ただし、1日にストップウォッチ2時間以内の使用。 (上記に加え、7T62はアラーム20秒以内の使用)				
8. 電子回路		発振、分周、駆動回路 (C-MOS-IC) : 1個																				

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■ ストップウォッチの使いかた (7T/YM 使用モデル)

〈ストップウォッチ針の0位置について〉

- ・ストップウォッチをリセットしても、ストップウォッチ針が0位置に戻らない場合、0位置合わせが必要です。
 - ・ストップウォッチ針の0位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時に進みます。
- (→「**時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ**」を参照)

● ストップウォッチのリセット方法

- ・ストップウォッチ針が動いている場合、
 - ① ボタンAでストップ
 - ② ボタンBでリセット
- ・ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。

【ストップ状態で止まっている】

- ① ボタンBでリセット

【スプリット表示でストップウォッチが計測中】

- ① ボタンBでストップウォッチ針が早送りし、その後計測状態になる。
- ② ボタンAでストップ
- ③ ボタンBでリセット

【スプリット表示でストップ状態】

- ① ボタンBでストップウォッチ針が早送りし、その後止まる。
- ② ボタンBでリセット

● 通常の使用方法

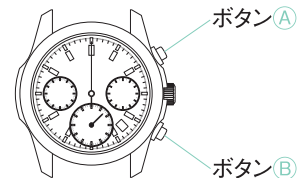


● 時間計測を積算で行なう場合



何回でも繰返すことができます。

※りゅうずとカレンダー位置はモデルによって異なります。
※ストップウォッチ針位置はモデルによって異なります。



●途中経過（スプリットタイム）を計測する場合 ※一部機種にはご使用できません。



何回でも繰り返すことができます。 ※「スプリット」状態で、計測時間が12時間になると、自動停止がはたらきます。スプリットは解除され、リセットされます。

●2人のタイムを計測する場合 ※一部機種にはご使用できません。

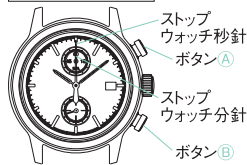


■ ストップウォッチの使いかた（VK使用モデル）

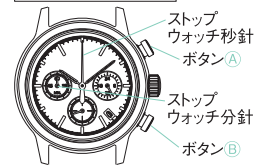
- ストップウォッチは時刻とは別に独立して計測します。
- スプリットタイムの計測はできません。

なおボタン押し「A ⇒ B」でリセットされますが不具合ではありません。しかしリセットする際はボタン押し「A（スタート）⇒ A（ストップ）⇒ B」でリセットさせてご使用ください。

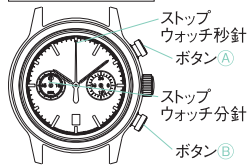
キャリバー-VK61



キャリバー-VK63/VK68/VK73



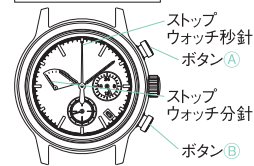
キャリバー-VK64



キャリバー-VK67

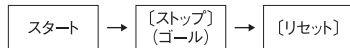


キャリバー-VK83



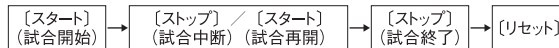
【通常の使用方法】

例：100メートル走
（ボタンを押す順序：A ⇒ A ⇒ B）



【時間計測を積算で行なう方法】

例：バスケットボール（ボタンを押す順序：A ⇒ A / A … A ⇒ B）



※途中のスタート/ストップは何回でも繰り返すことができます。

■ タキメーターがついている場合

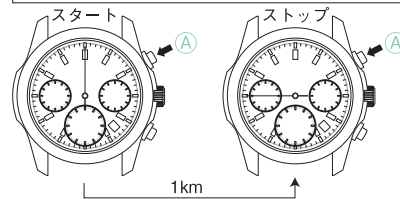
=タキメーター（TACHYMETER）がついている場合=

●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。

- ① 1 km 走るのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

80km/時

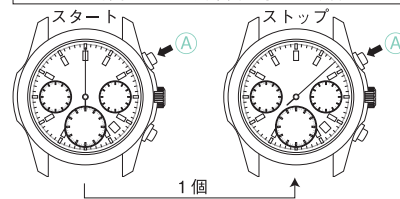
時速を測定する場合



- ① 製品1個が出来あがるのに要した時間を計測します。
- ② 秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。

400個 / 1時間あたり

1時間あたりの出来高を求める場合



■ ワンタイムアラームの使いかた (7T62・YM62のみ)

- ・セットした時刻に1回だけ鳴る、「ワンタイムアラーム機能」です。鳴った後、セットした時刻はキャンセルされます。
- ・約12時間先までの時刻に1分単位でセットができます。



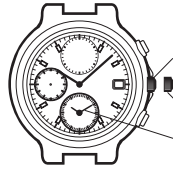
アラーム小時計は、アラームがセットされていない場合は、現在時刻を示し、アラームがセットされている場合はアラーム時刻を示します。

〈アラーム小時計の時刻合わせについて〉

アラーム小時計の時刻合わせは、基本時計の時刻合わせ等と同時にいきます。
→「**時刻合わせ**・ストップウオッチ針の0位置合わせ」をお読みください。

●アラーム時刻の合わせかた

- ①リュウズを1段目まで引き出してください。



リュウズ
1段目 (アラーム時刻合わせ)
アラームがセットしてある場合、アラーム時刻を示したままです。

※リュウズ1段目では、ストップウオッチの操作はできませんので、ご注意ください。

- ②ボタン⑧を押して、アラーム時刻を合わせます。
押し続けると、早く進みます。



ボタン⑧

※合わせたい時刻を通りすぎてしまった場合、さらに進めて合わせてください。

アラーム時刻が現時刻と一致すると、「アラーム設定なし」の状態になります。そのとき、ボタン⑧を押し続けて現時刻に一致させた場合は、早送りしている針が、一旦止まります。アラーム時刻を合わせる場合は、ボタン⑧を1回離して改めて押し合わせてください。
※アラームが設定できる時刻は、現在の時刻が午前10:08とすると、午後10:07までの時刻になります。

- ③合わせ終わったら、リュウズを押し込んでください。

※リュウズを押し込んでください。引き出したままでは、アラームは鳴りません。

●鳴っているアラームを止めるには

アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタン④、⑤のいずれかを押しってください。

※ストップウオッチ針が運針中の場合、通常のアラーム音とは異なりますが、異常ではありません。また、アラーム鳴鐘中にストップウオッチの操作(ボタン④またはボタン⑤)を押しても、鳴り止めとして機能し、ストップウオッチの操作にはなりません。鳴り止め後は、通常の操作ができます。アラームは1回鳴ると自動的に設定がキャンセルされます。

●アラーム時刻の修正またはキャンセルする方法

- ・セットしてあるアラーム時刻を修正したい。
 - ・セットしてあるアラームをキャンセルしたい。
- ①リュウズを1段目まで引き出してください。
 - ②ボタン⑧を押して、アラーム時刻の修正ができます。押し続けると早送りします。
・キャンセルするには、ボタン⑧押してアラーム時刻を現時刻の時・分と一致させてください。また、簡単な方法としてボタン⑧を押し続け早送りさせると、現時刻で早送りが止まるので、そこでボタン⑧を離す方法があります。
 - ③修正またはキャンセルできたら、リュウズを押し込んでください。

■使用上の注意とお手入れについて

⚠ 警告

- ・次のような場合、ご使用を中止してください。
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。
部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・電池の交換には専門知識・技能が必要です。お買い上げ店にご依頼ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
- ・この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

△ 注意

- ・以下の場所での携帯・保管は避けてください。
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
 - 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ
- ※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
- ・水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
- ・その他のご注意
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。



●耐磁性能について（磁気の影響）

- ・この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気性品より10 cm以上遠ざける必要があります。
	磁気性品より5 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS 1種)
	磁気性品より1 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS 2種)

※磁気により時刻が狂っても、遠ざければ正常に動きます。時刻を合わせ直しお使いください。

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



●お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください。

- ・りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。
- りゅうずは時々回してください。
- ・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気ボンベを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。

長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・弾力がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズのみやすについて

バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。

時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

■ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間～5 時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。

なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

環 境		明るさ(照度)のみやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 (白色蛍光灯40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

■アフターサービスについて

●保証と修理について

- ・修理の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。